

### 5-3 芳賀地域（真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町）

#### (1) 農業水利施設の概要

芳賀地方は県の東南部に位置し、真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町の1市4町により構成され、東部は八溝山系と芳賀台地からなり、西部は鬼怒川左岸のゆるやかな台地で、一級河川五行川、小貝川が南下する肥沃な土地と豊富な用水に恵まれ県南部の穀倉地帯の一角を形成しています。耕地面積は、18,700ha で管内総面積の33%を占め、圃場整備率は77.8%と比較的進んでいる地域です。

地域農業の特色は、「特別栽培米」や「棚田米」等の付加価値栽培や、全国一の生産量を誇る「いちご」をはじめとする園芸、乳用牛で大規模経営が展開されている畜産など、米麦・園芸・畜産それぞれがバランスのとれた豊かな水流に支えられた地域です。

しかし、当地域は、長年、恒常的な水不足に悩まされてきましたが、国営、県営事業などで、ダム、頭首工、揚水機場、パイプライン等の基幹的水利施設の整備を進め、農業用水の安定的な確保を図ってきた地域でもあります。

その一方、地域の農業用水利施設の多くは土地改良区で管理がされていますが、受益面積100ha未満の施設管理は、約半数近くが土地改良区以外の水利組合や自治会等、小規模な管理者が行っており、適切な管理ができない状況となりつつあります。

また、昭和61年8月の台風10号による集中豪雨では、農地で360箇所181ha、農業用水利施設で431箇所の被害を受け歴史的災害が記録されています。

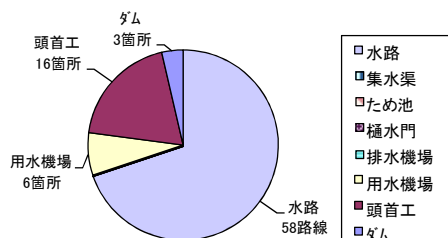


図1 地域の基幹的農業水利施設

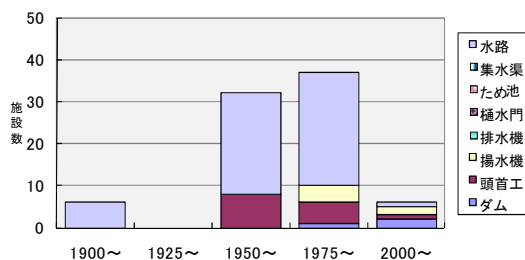


図2 基幹的農業水利施設の造成年度

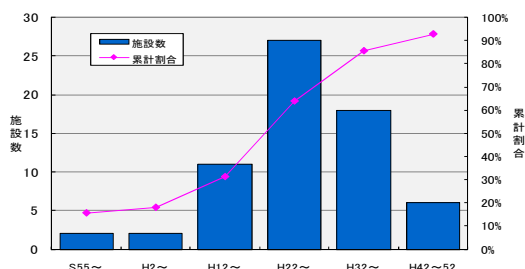


図3 耐用年数を迎える基幹的農業水利施設

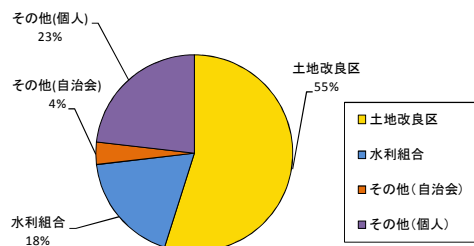


図4 施設管理者の状況(受益面積10ha~100ha未満)



写真1 塩田調整池(市貝町)



写真2 大郷戸ダム(益子町)

## (2) 課題

### ア 大郷戸地区の農業水利システムを形成する施設の機能低下

大郷戸地区の用水系統を形成するダム、揚水機場、幹線水路の一連の施設は、昭和 50 年代後半から 60 年代前半に県営事業により造成されましたが、一定年数を経過していることから定期的な機能診断や保全対策を計画的に行う必要が生じています。

### イ 他県に跨る農業水利施設の機能低下

穴川用水や、大井口幹線水路等、他県に跨る農業用水系統を形成する水利施設の機能低下が見受けられ、下流域に与える影響が懸念されています。

### ウ 基幹的水利施設の管理者の維持管理意識不足

芳賀地方の基幹的水利施設の約 3 割がすでに耐用年数を経過しており、施設機能の低下が懸念されています。施設管理者の維持管理意識不足や技術力不足から、劣化が進んだ施設において、適切な保全管理がされていない状況が見受けられます。

## (3) 対応策

### ア ダムを中心とした大郷戸地区の計画的な農業水利システムの保全管理

大郷戸ダムを中心とした農業水利システム（ダム、揚水機場、水路等）について、補助事業を活用しながら、計画的な機能診断と保全対策を実施し、施設の長寿命化を図ります。

### イ 関係機関や土地改良区と連携した計画的な農業水利システムの保全管理

国や茨城県をはじめとする関係機関や土地改良区等と連携を図りながら、計画的に水利施設の機能診断や対策工事を実施します。

### ウ 地域委員会による施設管理の保全管理に向けた理解促進

地域委員会を定期的に開催し、ストックマネジメントの普及啓発、施設の適切な保全管理について理解促進を図ります。

### 【ため池百選 唐桶溜（かるけのため）：芳賀郡芳賀町】



平成 22 年 3 月 農林水産省「ため池百選」に選定されました

唐桶沼は、雑木林の丘陵地に挟まれたこの土地の水不足解消のため、江戸・宝永年間に築造され、現在も 48ha の用水源として地域の農業を支えています。

池は、隣接する「宗山公園」と一体となって良好な景観や環境が保たれており、水生昆虫、魚類、両生類など多様な生物の生息・生育空間となっています。

また、野鳥が多く飛来することで知られ、冬場には白鳥も観察することができます。

草刈りやゴミ拾い等の池の管理は、地元ボランティア「唐桶溜の環境を守る会」によって行われています。